ご　挨　拶

岐阜県高等学校文化連盟会長　高橋　宗彦
（岐阜県立加納高等学校長）

令和４年度より岐阜県高等学校文化連盟会長を務めております、高橋宗彦でございます。本年度もよろしくお願いいたします。

当連盟は昭和５４年に演劇、吹奏楽、合唱、器楽、美術・工芸、書道の６専門部会から発足しました。その後写真、マーチングバンド・バトントワリング、吟詠剣詩舞、囲碁、民俗芸能、将棋、自然科学、放送、文芸、地域研究、小倉百人一首かるたの各部会が加わり、現在は１７の部会が活動しております。

当連盟は、毎年夏の全国高等学校総合文化祭への本県高校生の派遣、秋の岐阜県高等学校総合文化祭、各専門部会の個別の活動への支援を３本の柱としまして、岐阜県下高校生の文化系部活動の後押しをしております。

さて、記憶に新しい所ですが、昨年度は第４８回全国高等学校総合文化祭が「清流の国ぎふ総文 2024」として岐阜県で開催されました。全国総文が４７都道府県を一巡して、二巡目に入る記念すべき大会を岐阜県中の高校生の皆さんが見事に支えてくれました。総合開会式にパレード、そして各部会の会場運営といった、いずれも滅多に体験できないビッグイベントばかりでした。自分も数年前に始まった準備の段階から、できる限り生徒の皆さんの活躍にご一緒させていただきました。どの部門も悩み、苦しみ、そして励まし合って作り上げていく様子にエールを送り続けることの連続でした。岐阜総文の最終日、可児市文化創造センターでの合唱部会の発表会が全国の仲間による大会テーマソング「集え青き春　清流の国へ」の合同合唱で終わった時は、自分がこのタイミングで高文連の活動に関わらせてもらって、生徒の皆さんがたくましく成長していく場面に沢山立ち会えたことに心の底から感謝する思いがしました。

ぎふ総文を経て、パワーアップした岐阜県の高校生諸君が、これからの郷土の文化を継承し、育てていってくれます。今年度はしばらく行われなかった「県総文総合開会式」も復活する予定です。令和７年度も県内各地で繰り広げられる文化の祭典を皆さんで盛り上げていきましょう。

当文化連盟では岐阜県の文化系部活動に力を尽くす生徒の皆さんをバックアップできるよう、平成２３年度にこちらの HP を開設しました。当連盟の PR はもちろん、各専門部会の運営に必要なコンテンツも日々増やしております。

当連盟はこれからも県内高校生による文化系部活動の運営や発展、そして生徒の皆さんの成長に少しでも貢献できるよう努めてまいります。ぜひこちらの HP もご活用いただき、岐阜県下高校生による文化系部活動を応援くださいますよう、お願い申し上げます。